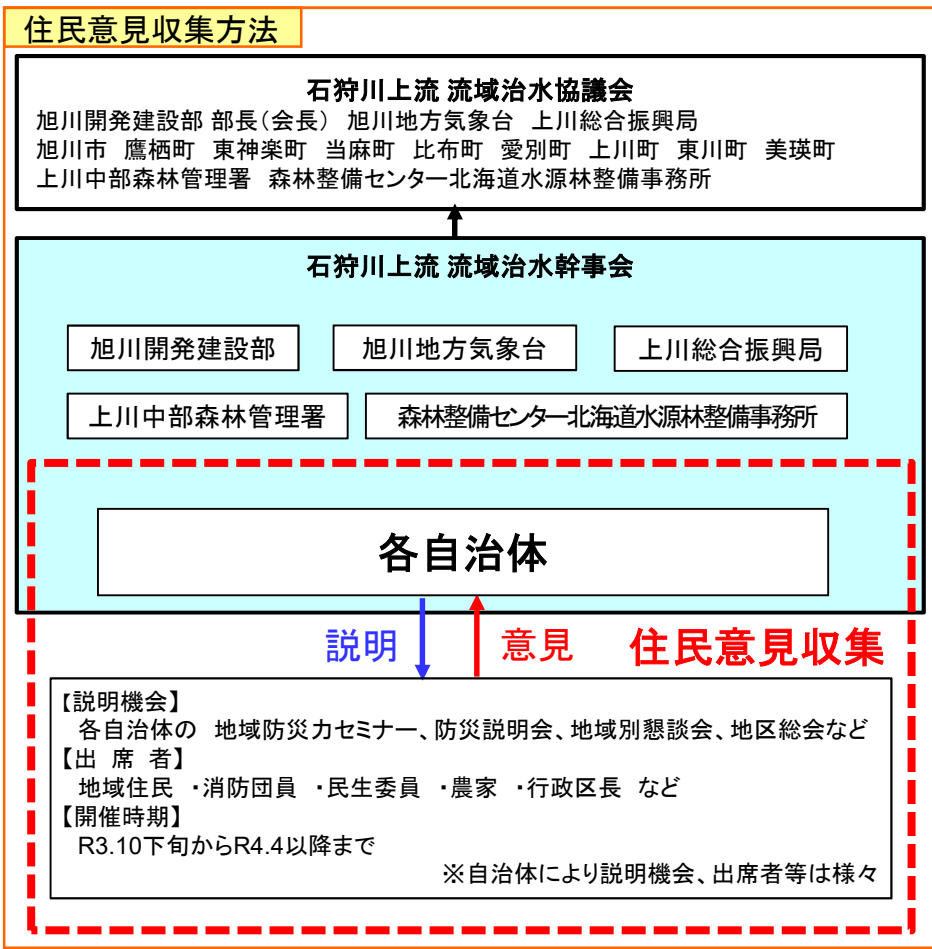


・流域治水協議会に参画している各自治体が主体となって行う地域防災セミナー等にて、地域住民の質問・意見を収集し、その意見を流域治水協議会で共有する。今回、11月末迄の状況を共有し、今後も取組みを続けていく。



- ### 住民への照会内容
- ・「流域治水」の方向性、「流域治水」の施策のイメージの説明
 - ・石狩川(上流)水系流域治水プロジェクトの提示
 - ・各自治体における取組み説明
 - ・その他、セミナーなどの会議目的に沿った関係取組み事例の紹介
 - ・上記説明への質問・意見の収集

目的

「流域治水とは」を分かりやすく説明し、まずは知ってもらい、「流域治水」や「プロジェクト」に対しての質問や意見を聞き取ることにより、住民理解の促進とプロジェクトへの反映について協議することを目的とする。

11月末までの実施状況

【取組み状況】
取組み実績有り自治体数 1自治体 / 石狩川上流域 9自治体

※昨今の新型コロナ感染対策等により、予定していた会議が延期や中止になった自治体が多数あり。今後、状況を見て引き続き取組みを継続していく。

【自治体での取組み例】
既存の行政区長会議を活用し、なるべく分かり易い資料を使用して流域治水について説明

流域治水ってなに？
流域治水の「流域」ってなに？
なぜ、いま流域治水が必要なの？
でも、流域治水ってなににするの？
〇〇が取り組む流域治水ってなに？
わたしたちができる流域治水ってなに？

使用資料の例

※自治体により説明機会、出席者等は様々

住民からの意見・質問

- ・現時点で特に無し

(参考情報)同管内の天塩川上流では住民から「大災害に対しての備えも良いが、高頻度の水害に対しての避難などはどうしたらよいか。」という質問有り。
※このような住民意見についても、今後対応について協議会で協議